【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【公開番号】特開2013-170735(P2013-170735A)
【公開日】平成25年9月2日(2013.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2013-047
【出願番号】特願2012-34083(P2012-34083)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　13/20　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　1/00　　４０１Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月17日(2014.7.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
室内機本体と、
当該本体の少なくとも一つの側面の幅方向に伸びるように設けられた水準器移動用レールと、
前記水準器移動用レールに移動自在に取り付けられ、前記本体の傾きを測定する水準器部とを有する
ことを特徴とする空気調和装置の室内機。
【請求項２】
前記水準器移動用レールは、
前記本体の前記側面のうちの一つである第１側面に設けられる第１水準器移動用レールと、
当該第１側面と直交する第２側面とに設けられ、前記第１水準器移動用レールに連続的に接続される第２水準器移動用レールとから構成される
ことを特徴とする請求項1に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項３】
前記水準器移動用レールは、
前記本体の前記側面のうちの一つである第１側面に設けられる第１水準器移動用レールと、
前記第１側面であって前記第１水準器移動用レールの上側に設けられ、前記第１水準器移動用レールに略平行に設けられる第3水準器移動用レールと、
前記第１水準器移動用レールの一端側と連続的に接続するとともに、前記第3水準器移動用レールの一端側と連続的に接続し、前記第１水準器移動用レール及び前記第3水準器移動用レールに対して垂直に設けられる第4水準器移動用レールとから構成される
ことを特徴とする請求項1に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項４】
前記水準器移動用レールは、
前記本体に取り付けられるレール垂直部と、
一端側が前記レール垂直部の下端側に接続されるレール下部と、
下端側が前記レール下部の他端側に接続される第１レール返し部と、

一端側が前記レール垂直部の上端側に接続されるレール上部と、
上端側が前記レール上部の他端側に接続される第２レール返し部とを有し、
前記第１レール返し部の上端側と前記第２レール返し部の下端側とが、隙間を空けて設けられている
ことを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項５】
前記水準器部は、
前記水準器移動用レールに着脱可能に設けられ、
前記水準器移動用レールに取り付けられた状態において、前記レール垂直部、前記レール下部、前記第１レール返し部、前記レール上部及び前記第２レール返し部に囲まれ、前記水準器移動用レール上を移動自在に設けられる滑動コマ部と、
一端側が前記滑動コマ部に接続され、他端側が前記第１レール返し部の上端側と前記第２レール返し部の下端側とによって形成される前記隙間を介して、延設される接続部と、
前記接続部を介して前記滑動コマ部に取り付けられる水準器と、
を有する
ことを特徴とする請求項４に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項６】
前記滑動コマ部は、
前記レール垂直部側の面が曲面状に形成されている
ことを特徴とする請求項５に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項７】
前記滑動コマ部は、
前記レール垂直部側の面を底面とする円柱状に形成されている
ことを特徴とする請求項５に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項８】
前記滑動コマ部は、
前記接続部を軸として回転するローラーで構成した
ことを特徴とする請求項５に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項９】
前記水準器移動用レールの端部側に取り付けられ、前記水準器部が前記水準器移動用レールから脱落することを防止するレールキャップを有する
ことを特徴とする請求項１～８のいずれか一項に記載の空気調和装置の室内機。
【請求項１０】
前記本体は、天井吊下型である
ことを特徴とする請求項１～９のいずれか一項に記載の空気調和装置の室内機。